

草木ダムによる防災操作（洪水調節）について ～台風第24号に対する草木ダムの効果～

草木ダムでは、台風第24号の降雨によって発生した洪水に対し、洪水の一部をダム貯水池に貯めて、下流河川の水位低減を図りました。

（概要）

1. 防災操作の実施

- ・ 9月29日8時から降り始めた降雨は10月1日5時までに、草木ダム流域の総雨量で171ミリメートルを観測しました。
- ・ 草木ダムでは、最大で**毎秒約1,018立方メートル**の洪水に対して**毎秒約466立方メートル**をダムに貯留しました。
- ・ この防災操作により、**約421万立方メートル**^{*}の水をダムに貯留し、貯水位は、洪水調節開始時から約3.3メートル上昇しました。

2. 洪水貯留効果

草木ダムによる洪水貯留により、渡良瀬川の^{はなわ}花輪地点（みどり市東町花輪：わたらせ渓谷鐵道中野駅付近）での水位は約3.5メートルでした。草木ダムが無かった場合の花輪地点の水位は、約4.1メートルと推測されるため、**約0.6メートルの水位低減効果（洪水貯留効果）があったものと推定されます。**

※東京ドームの容積（124万立方メートル）で換算すると、約3.4杯分に相当します。



平成30年10月3日

独立行政法人水資源機構 草木ダム管理所

発表記者クラブ

桐生記者クラブ

問合せ先

独立行政法人水資源機構 草木ダム管理所
所長代理 照岡（てるおか）

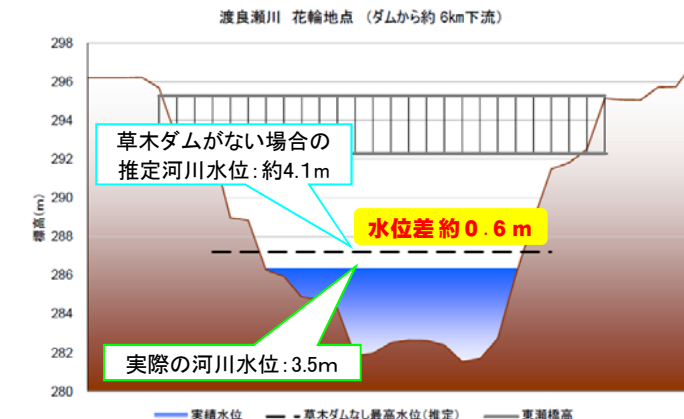
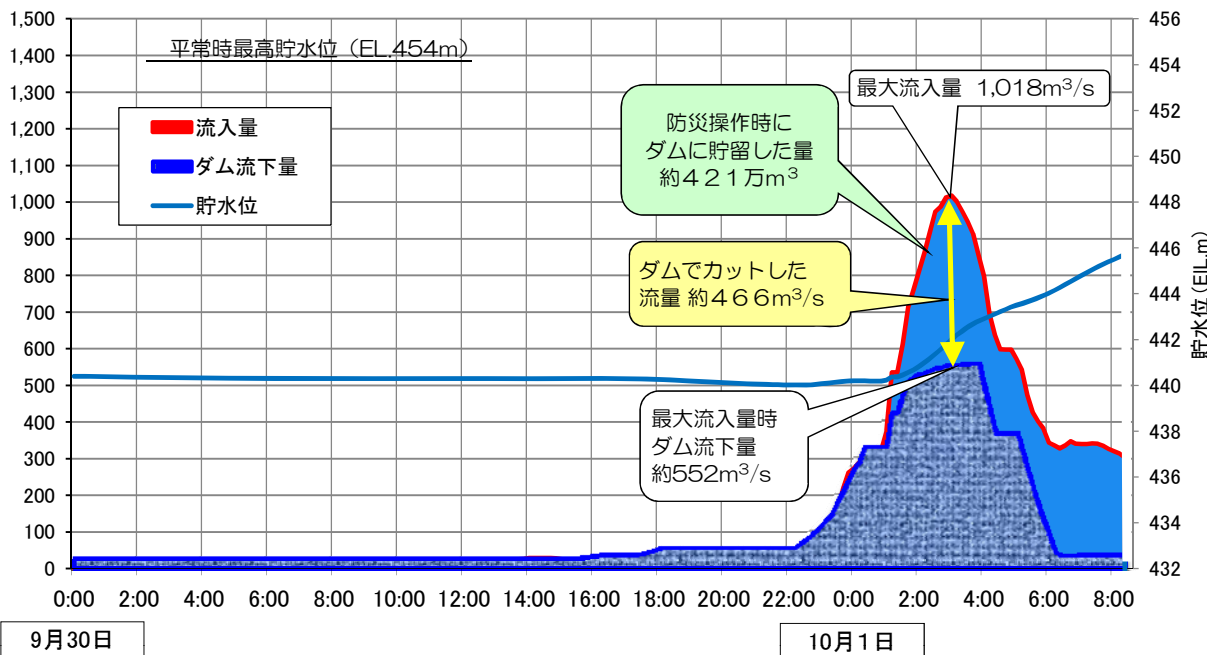
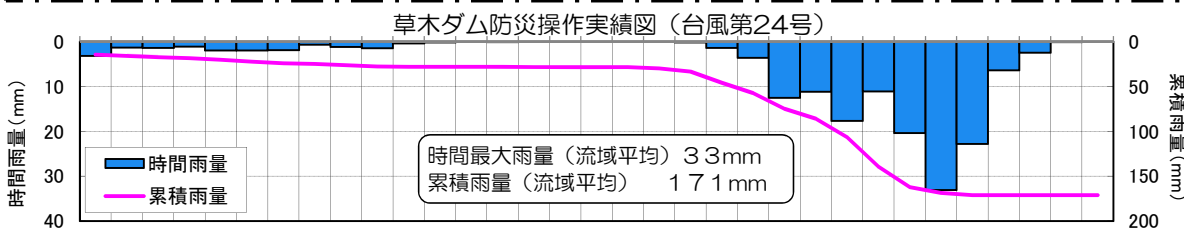
住所：群馬県みどり市東町^{あずまちょう}座間564-6

電話：0277-97-2131

平成30年10月1日洪水(台風第24号)に対する草木ダムの効果

- ・草木ダムでは、今回の台風第24号に伴う降雨による洪水の一部をダム貯水池に貯留する防災操作を行いました。
- ・この防災操作により、ダム下流約6kmの花輪地点(みどり市東町)での水位低減効果は、約0.6mと推定されます。

非常に強い台風第24号は、9月29日8時から10月1日5時にかけて、総雨量171mm、時間最大雨量33mm(9月30日24時～10月1日1時)の大雨をもたらしました。
 この降雨に伴い発生した、最大流入量約1,018m³/sの洪水に対して約466m³/sを草木ダムに貯留(防災操作時の累計421万m³)し、下流の洪水被害を軽減しました。
 この防災操作により、下流の花輪地点で河川水位3.5mが観測されましたが、草木ダム管理所で試算を行った結果、ダムが無かった場合は、約4.1mと推測され、約0.6mの水位低減効果があったと推定されます。



※各数値は速報値